

# 伝泊

だより  
vol.03

2019.8.25



## 島っちゅが伝える奄美の伝統文化

伝泊は、空き家が蘇ることにより、集落の活性にも役立って欲しいという思いで運営しています。「伝泊」の「伝」は、島の「伝統」、「伝説」、そしてそれを「伝える」という意味が込められています。

例えば、奄美の大切な行事である八月踊り。須野の「高倉のある宿」では、伝泊のゲストからの要望があれば、集落の方々に、唄や太鼓とともに踊りを披露していただいています。

ゲストからは参加費、花代をいただき、伝泊からは飲み物や食べ物をご用意して、ゲスト、集落の両方に楽しんでいただきたいと考えています。

初めは恥ずかしそうなゲストも、踊りや奄美の言葉を教えられるうち、次第に打ち解けていきます。伝泊の近くで、ゲストを見かけたら、気軽に声をかけていただき、交流が生まれましたら嬉しいです。

## 宿泊ゲスト様からのお声 —伝泊 The Beachfront MIJORA—

『初めての奄美大島で初日こちらに滞在しました。きっと自分たちが好きそうな宿だろうと思って予約しましたが、予想以上に建築も内装も調度品もすごく素敵でお洒落で気に入ってしまい、こんな家を買いたいなんて話をしてとりあえず写真をたくさん撮りました。笑。～中略～奄美の海は沖縄とはまた違った青をしていて、湾のようになっているからかとても静かで、部屋のテラスから海を眺めていると天国に来ってしまったような気持ちになります。この宿もとても素敵ですが、そもそも素朴で手付かずの美しさがある奄美が大好きになりました。近いうちにまた行きたいねと話しています。』



(東京都 B様ご夫妻)



## ギャラリーオープン

まーぐん広場に、島の作家さんの作品を展示販売するアートギャラリーがオープンしました。8月はオープニング企画として沖縄伊平屋島の民具を現代的にリ・デザインする「種水土花(しゅみどか)」さんの展覧会とワークショップを開催しました。また、伝泊オリジナルTシャツも販売しています。柄は伝泊を応援してくれている4人のデザイナーの描きおろし。島の文化にインスピレーションを得たデザインで、裾の「伝」のタグがポイントです。定価3,200円(税込)。

## スタッフより一言

宮城県仙台市より移住してきました。長年サービス業に携わり、お客様に喜んでいただけることが、何よりも嬉しく、やりがいのある仕事と取り組んでおります。奄美の自然豊かな文化や、素晴らしい気持ちはもちろんですが、お泊りいただいたお客様にとって、かけがえのない素晴らしい旅になりますよう、お手伝い出来ればと思います。

伝泊 部長 前田奈緒子



島人割  
しまっちゅわり

# 10%割引

奄美在住の方より、お電話にてご予約を頂けましたら、通常料金より10%オフにて伝泊にご宿泊頂けます。